

1. 教育計画

基礎看護学

分野	専門分野Ⅰ 基礎看護学	科目名	生活援助技術Ⅲ (食事と排泄)
単位・時間	1単位・20時間	対象学年	1年生
方法	講義、演習	時期	前期
講師名 (担当授業時間数)	専任教員 半谷 みゆき(8時間) 専任教員 松井 さやか(10時間)		
講師の実務経験	半谷：看護師として星ヶ丘病院に4年、星総合病院に6年 松井：看護師として星ヶ丘病院に9年、星総合病院に6年		
学習目標	1. 人間にとって食事、排泄という行為の意味や意義を理解する。 2. 安全・安楽・自立・個別性を重視した基本的な援助技術を学ぶ。		
成績評価方法	筆記試験		
使用テキスト	医学書院 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ メディックメディア 看護技術がみえる①基礎看護技術		
参考文献	照林社 ビジュアル基礎看護技術ガイド		
履修上の留意	受験資格：規定時間の講義への出席 評価：授業や演習態度・課題内容も含む		
講師からの メッセージ	<p><食事>人にとって「食べる」ということの大切さを考え、「食べる」という行為に不具合が生じた時に、看護職にどのような看護が必要なのか一緒に考えていきましょう。</p> <p><排泄>排泄援助技術を受ける患者の立場、看護者としてどのような看護が必要なのかを講義、演習を通じて患者と看護者の両側面から学んでいきましょう。</p>		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	1. 食事・栄養の意義 2. 食欲	事前課題：食事とは(精神的・身体的・社会的な側面から考える) 1) 食事の意義 2) 栄養状態及び食欲のアセスメント	事前 課題 講義	
2	2	経口摂取困難時の栄養法	1) 非経口的栄養摂取法の種類と比較 2) 経管栄養法・経静脈栄養法の援助の実際	講義	DVD
3 4	4	食事援助の実際	1) 食事介助の実際	講義 演習	DVD

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
5	2	1. 排泄の意義 2. 排泄援助を受ける対象の理解	1) 排泄とは (1) 生理的側面 (2) 心理的側面 (3) 社会的・文化的側面 1) 排泄環境の調節 2) 排泄援助を受ける対象の心理 3) 排泄に関する看護者の役割	講義	課題 提出
6	2	排泄行動に障害のある人への看護と実際 ①	1) 尿器を用いた援助方法 2) 差し込み便器を用いた援助方法	講義 演習	白衣 着用
7	2	排泄行動に障害のある人への看護の実際 ②	1) ポータブルトイレを用いた援助方法 2) おむつを用いた援助方法	講義 演習	白衣 着用
8	2	1. 自然な排泄と排泄障害について 2. 『排泄物』から分ること 3. 排尿・排便障害のある人への看護	1) 排尿・排泄障害のメカニズム 2) 排尿に関する情報収集、排泄物の観察 3) 自然排尿を阻害する因子、促す方法 4) 排便・排便障害のメカニズム 5) 排便に関する情報収集、排泄物の観察 6) 自然排便を阻害する因子、促す方法	講義 演習	課題 提出 白衣 着用
9	2	排泄行動に障害のある人の看護と実際③	1) 排尿障害のあるひとの排泄方法 (導尿、膀胱留置カテーテル) 2) 排便障害のある人の排泄方法 (グリセリン浣腸・高圧浣腸・敵便) 3) グリセリン浣腸の援助方法	講義 演習	課題 提出 白衣 着用
10	2	評価	筆記試験		